

日時 平成 30 年 2 月 26 日（月曜日） 18:00-20:00

場所 企業家ミュージアム（東京都千代田区外神田 2-2-19, 2F）<http://www.csm.or.jp/wp/access/>

参加者 佐藤、山本、古山、辻井、西村、緒賀、望月、市川、鈴木良二（ゲスト）、村山 10 名

欠席届 宇佐神、長塚、新川、井上

## 内容

1. 望月雅和「出版報告」：望月雅和編著，大友りお・櫻坂英子・森脇健介・弓削尚子著，能智正博（監修）『山田わか 生と愛の条件-ケアと暴力・産み育て・国家』現代書館，2018 年 2 月 10 日（Amazon から紹介）  
・望月氏の 5 年に及ぶ編集作業は、出版社からの依頼で、女性研究の著作として本格的な「山田わか」の評伝（人物伝）を 20 年ぶりに、一般向け読者に、常に参照されるべき本を残そうとの志から出版された。東大教育学部の能智先生の浩瀚な解説も入れてある。各著者と面談し、「山田わか」が中心となるように記述してもらった。1，2 章は、香港とオーストラリアで学位をとった大友が、文学、カルチュラルスタディーズの研究者として、ピグマリオン効果の視点、シンデレラストory に終わらない論点で書いた。3 章の評伝は社会心理学、ジェンダーなどが専門の櫻坂が分かりやすく評伝を書く。第 4 章は医療技術評価が専門の森脇が母子保護法成立の法思想の面について。第 5 章は今までタブーであったナチズムに意図的に加担した山田の側面について、ドイツの近代女性史が専門の弓削が書く。第 6 章はケア、道徳教育の側面から望月が執筆。初出は日本経営倫理学会の大会であることをお礼として述べる。第 7 章は能智先生が、人間とは何かという視点から。よいことも悪いことも両面ある複雑で評価の難しい山田を論じた。
2. 『21 世紀の経営倫理』の審議：同友館取締役編集部長の鈴木良二部様からのお話  
・論文集の寄せ集めとなっていて、テーマが広すぎ。第 5 部などワンテーマに絞るべきである。  
・専門書やテキストは、著名ライターによる商業出版と自費出版の中間点にある。  
・A 5、200 ページの出版の経費 100 万円：50-60 万円が製本代、出版社や書店のマージン 40 万円程度。  
・ビジネスとして特に推すテーマがあるわけではない。不祥事も良いテーマでしょう。
3. 本部会の使命や存在意義はもともと何か。  
・水谷会長、福留部会長たちは、日本独自の理念や経営思想に基づく経営倫理を求めている。  
・日本経営倫理学会・理念哲学研究部会『新世紀<経営の心>16人の先達』英治出版，平成13年2月  
・部会長がリーダーシップをとって、企業家ミュージアムに展示されている企業、経営者の思想について分担を決めて啓蒙書を作るべきではないか。  
・企業不祥事の温床には利益が中心思想の集団圧力のもと倫理という用語は存在しないビジネスの現場がある。その克服が最も求められる中心テーマである。

今後の予定 毎月第 4 月曜日 18:00-20:00

場所 企業家ミュージアム（東京都千代田区外神田 2-2-19, 2F）

3 月 26 日

- ・今後の部会での統一テーマを 3 の議論に基づき、方針の決定を審議

4 月 23 日